

白石の農業の現状と農業集落について

菅野 浩一

〔質問〕（一）白石の農業の

その他の質問

現状と品目横断的経営安定対

○山林の整備について

策との関わり方について、今

後の方策をどのように検討さ

れているか伺いたい。

（二）農業と農業集落の存続

を図るために、どのような施

策推進を図るのか、市長の所

見を伺いたい。

広告等での歳入の考えについて

山田 裕一

〔質問〕市のホームページへ

のバナー広告の掲載は、新た

な財源の確保と地域経済の活

性化を目指し、全国的には既

に多くの自治体が導入済みで

ある。県内においても仙台市

をはじめとして7市2町の自

治体が既に導入をしている。

このバナー広告掲載料を市

ホームページの維持管理費用

ないか伺いたい。

に充てることにより、これまで要していた費用を他の行政サービスにあてることができ

〔答弁〕〔市長〕『広報しろいし』、白石市のホームページなどを活用して、民間企業の有料広告を掲載してはどうかと職員提案がなされた。

審査の結果、採択され、平成20年度から実施することとした。

一方、命名権についても職員提案があったが、有料広告の推移を見守るため、現在保留をしているところである。

さらに、市民課等で配布する封筒については、歳出削減

〔答弁〕〔市長〕白石市としても、新たな経営安定対策の実施に対応すべく、市の実情に合った独自の農業振興施策として次の事業をスタートさせた。

「地域農業いきいき推進事業」「担い手育成資金利子補給補助事業」「農用地利用集積奨励補助事業」

これらを活用することにより、認定農業者へ移行できない小規模な農家や兼業農家について、担い手の一員となつて集落営農を推進すべく、農

業者、農業者団体やJA、県など関係機関と連携して支援してまいりたい。

また、本年度から新たな米の需給調整システムへ移行した。

米の生産調整の推進等に係る産地づくり交付金及び米価下落への一部を補てんする稲作構造改革促進交付金については、担い手のみならず、品目横断的経営安定対策に加入していない農業者も助成の対象となつていくことから、「白石市地域水田農業ビジョン」

の観点から導入を促進してまいりたい。

また、市民バスの停留所の広告については、安全性の確保が課題となるので、財源確保のためには必要とは思いますが、今後検討することとした。

その他の質問
○自主防災組織リーダー育成事業について



仙台市ホームページの広告掲載部分

